

## <ポイント版> ぎふ経済レポート（令和3年7月分）

### 【製造業】

○製造業は、5月の鉱工業生産指数が前月比▲3.0%と低下。ヒアリングでは、中国や北米向けの輸出が好調を維持しているとの声があったものの、海運のコンテナ不足や半導体不足、原材料の高騰など、先行きを懸念する旨の声が聞かれた。

### 【地場産業】

○地場産業は、5月の鉱工業生産指数が、家具や窯業・土石、パルプ・紙で上昇したものの、食料品や木材・木製品、繊維工業で低下した。ヒアリングでは、お土産やお中元需要が落ち込んでいるとの声など、需要の落ち込みを指摘する声が聞かれた。

### 【設備投資】

○設備投資は、7-9月期の設備投資実施DI見通しは前期比▲0.5ポイント低下し、設備投資意欲DI見通しは同5.8ポイント上昇した。ヒアリングでは、製造ラインの新設やIT関連の追加投資など、前向きな設備投資の動きが見られたが、ウッドショックにより取引先の設備投資計画に影響が出ている、との金融機関の声もあった。

### 【個人消費】

○個人消費は、6月の販売額は、ドラッグストアや百貨店・スーパー、コンビニで増加し、家電大型専門店とホームセンターで減少した。ヒアリングでは、半導体不足により一部家電商品の品薄が続いているとの声が挙がるなど、半導体不足の影響が個人消費にも影響を与えている。

### 【観光】

○観光は、6月下旬までまん延防止等重点措置の対象区域となり、不要不急の外出や県をまたぐ移動の自粛、イベントの中止、宿泊客に対する酒類の提供停止が要請されたことなどにより、客数は観光地、宿泊施設ともにコロナ前の前々年同月を下回った。宿泊施設からのヒアリングでは、7月の4連休を中心に週末の予約に動きが出始めたが、観光目的の宿泊はまだまだ少ない、などの声があった。

### 【資金繰り】

○企業の資金繰りは、6月の制度融資実績は、件数、金額ともに2ヶ月連続で前年同月比で減少した。金融機関からのヒアリングでは、取引先は実質無利子無担保融資により当面の運転資金を調達済みであることや事業自体が停滞しているため、コロナ前と比較して融資の実行が少なくなったとの声が聞かれた。

### 【雇用】

○雇用面は、6月の有効求人倍率が1.39倍と2ヶ月連続で上昇した。ヒアリングでは、定年の延長や近隣企業の早期退職者を対象とした採用活動など、人材不足を解消する取り組みが聞かれた。

### 【景気動向】

5月の景気動向指数（一致指数）は前月比で0.8ポイント上昇し、6月の中小企業の景況感は同比で1.3ポイント上昇した。